

男女がともに活躍できる社会へ



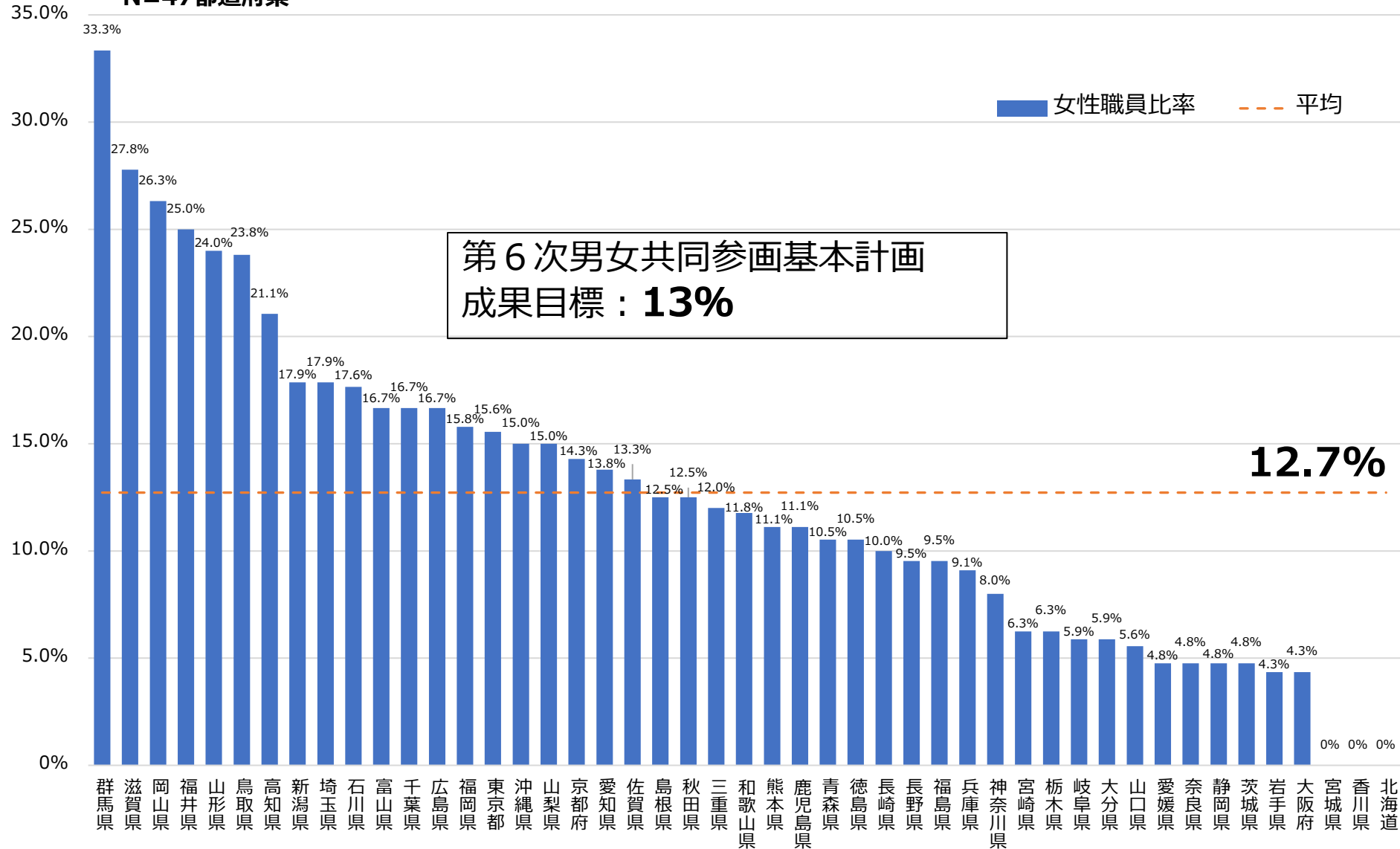
内閣府
男女共同
参画局

男女共同参画の視点からの防災・復興

都道府県の災害対策本部の女性職員

都道府県の災害対策本部の本部員における女性職員の割合※（47都道府県）

N=47都道府県



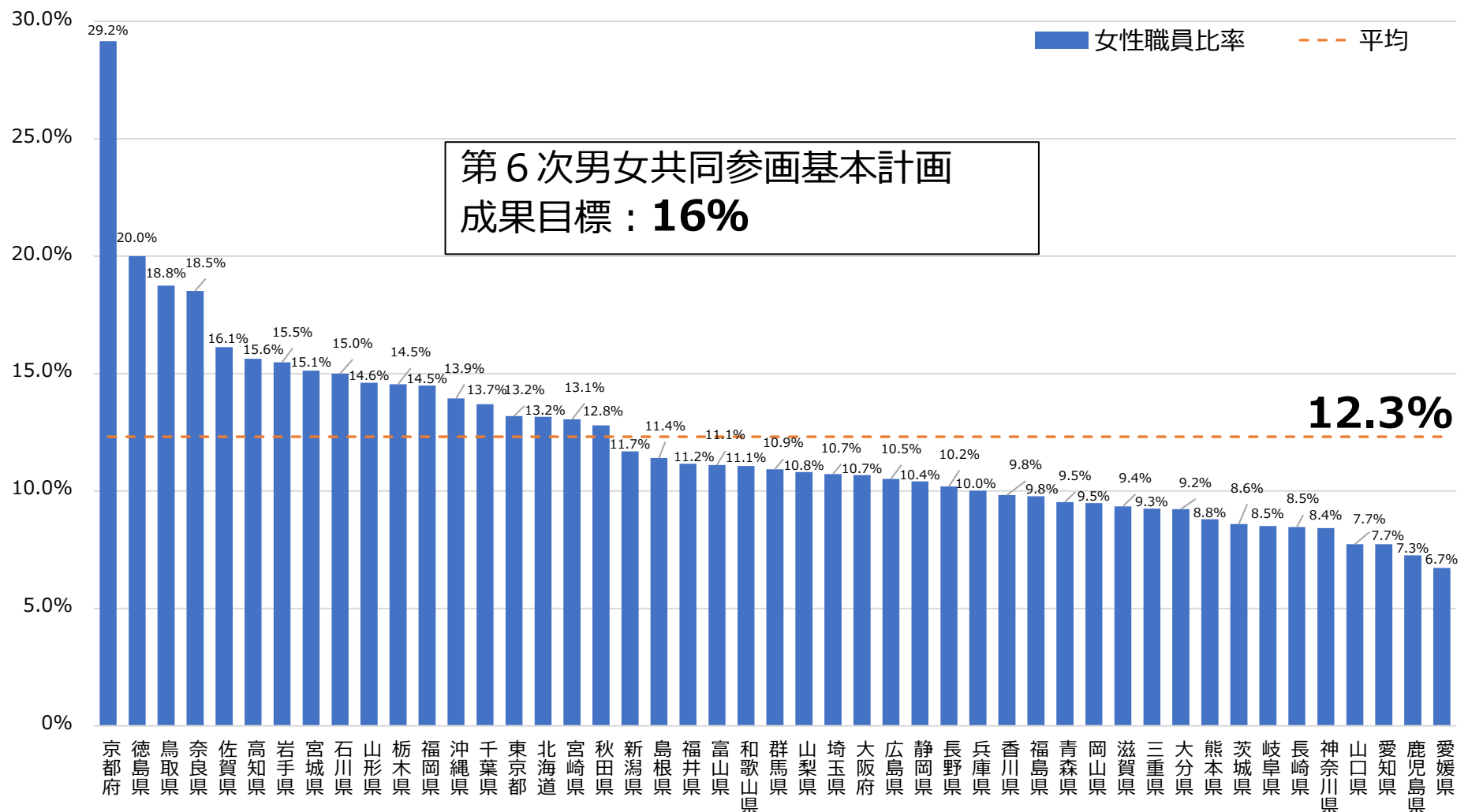
※災害対応時の最高意思決定機関である「本部会議」に出席する意思決定層（本部長を含む本部員）の人数のうちの女性職員の割合

ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査（令和8年7月）<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/chousa.html>

市区町村の災害対策本部の女性職員

市区町村の災害対策本部の本部員における女性職員の割合※1（政令市を含む1741市区町村）

N=1741市区町村

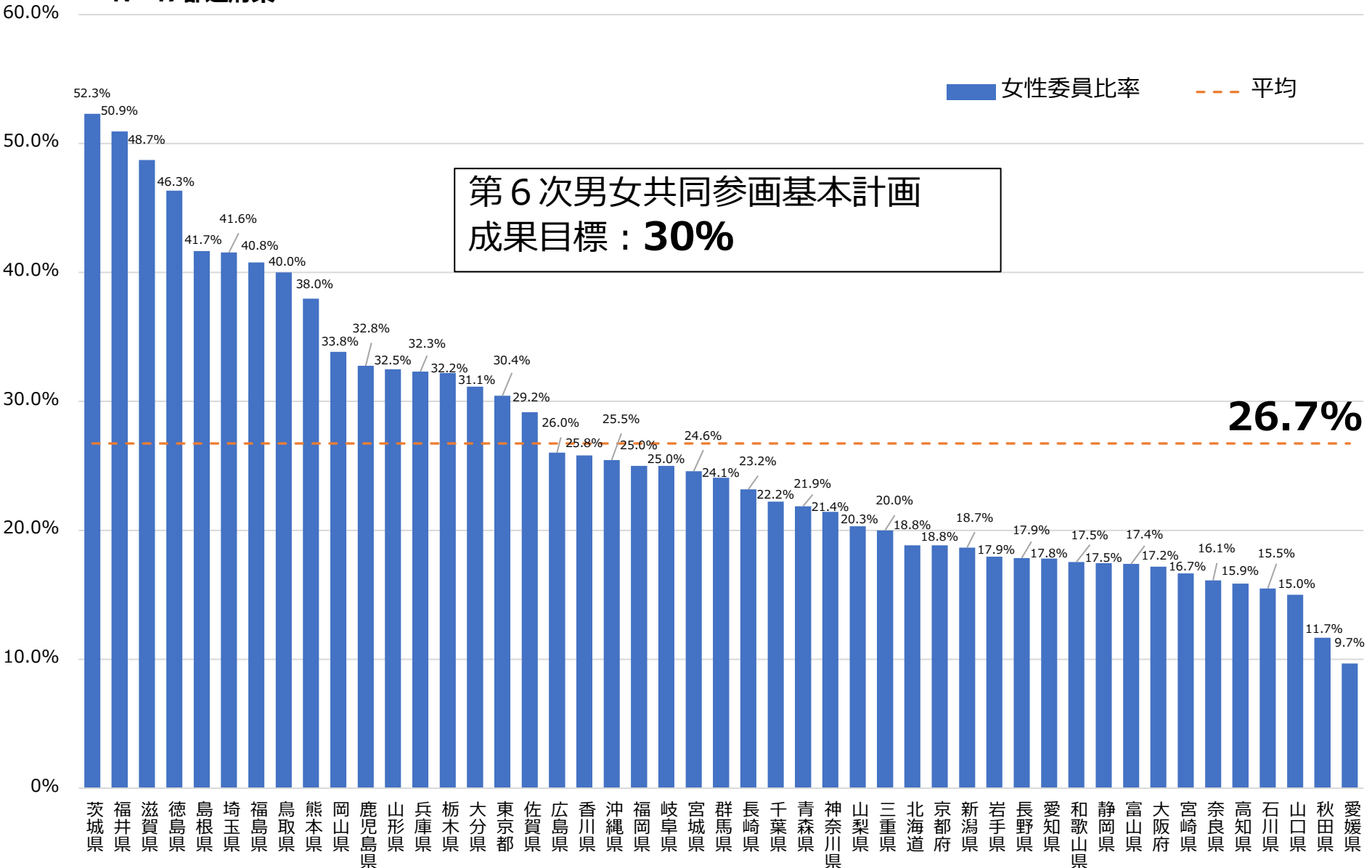


※1 災害対応時の最高意思決定機関である「本部会議」に出席する意思決定層（本部長を含む本部員）の人数のうちの女性職員の割合

都道府県防災会議の女性委員

都道府県防災会議の女性委員の割合※（47都道府県）

N=47都道府県



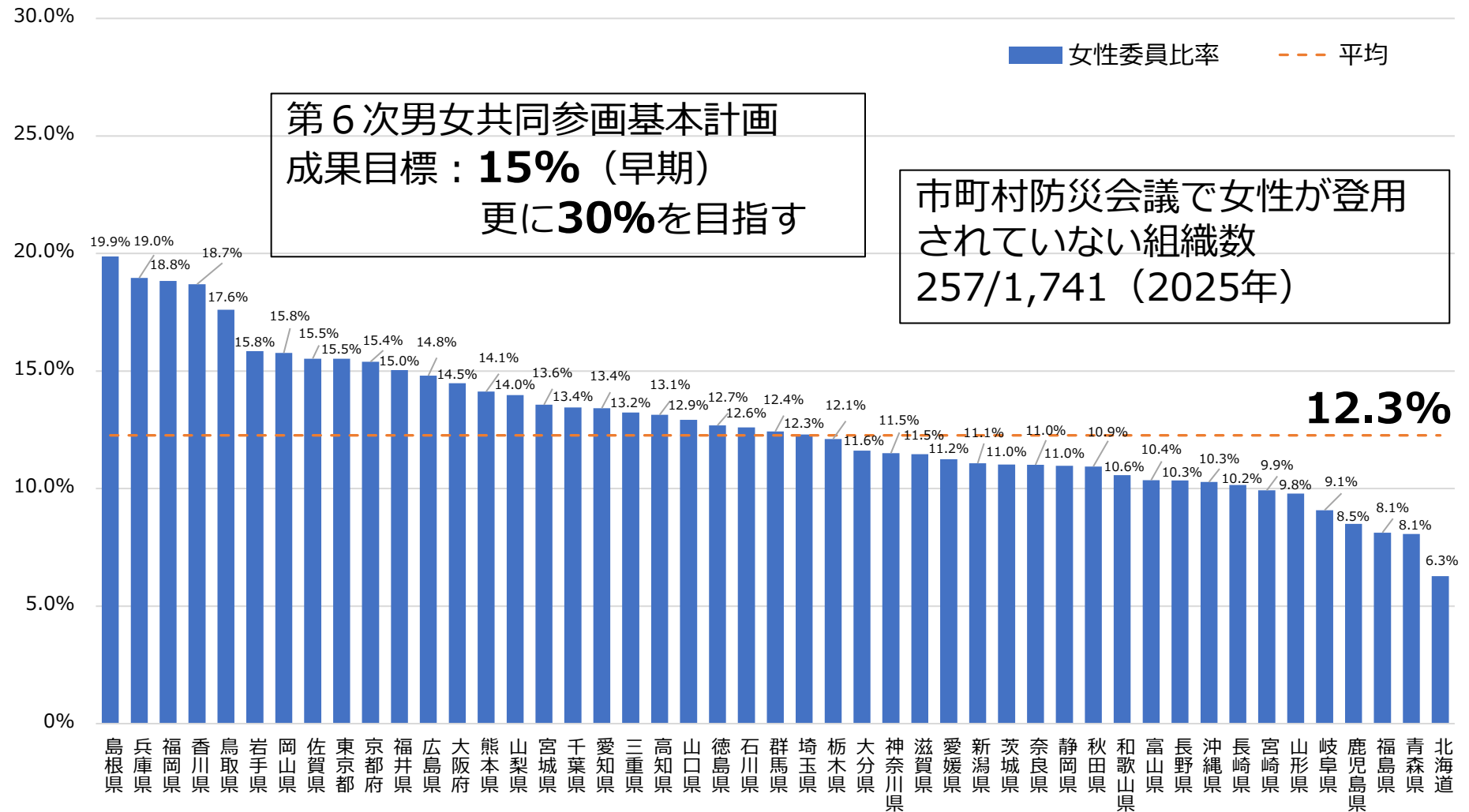
※ 委員長を含む

ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査（令和8年7月） <https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/chousa.html>

市区町村防災会議の女性委員

市区町村防災会議の女性委員の割合※1（政令市を含む1741市区町村）

N=1741市区町村



※1 委員長を含む

女性版骨太の方針2026 (女性活躍・男女共同参画の重点方針2026)

IV 安全・安心が確保される社会の実現等

2. 男女共同参画の視点からの防災の推進

・「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を推進するため、地方公共団体の取組状況調査の見直しや**災害対策本部に女性を積極的に登用**している事例の収集を含め、地方公共団体への働き掛けを引き続き進める。【内閣府】

⇒好事例の横展開のために女性割合が高い地方公共団体にアンケート調査・ヒアリング調査を実施予定。

全国知事会、全国市長会、全国町村会の 事務総長宛の要請文を7月に発出予定

政策・方針決定過程への女性の参画拡大について（依頼）

3. 防災・復興分野における男女共同参画の推進について （略）

内閣府では、令和7年7月に、地方防災会議のうち、いわゆる1号委員に占める女性の割合が高まるよう関係省庁に周知し、防災基本計画に記載したほか、令和3年6月11日付け府政防第724号・府共第330号「女性の視点に立った防災・復興の取組促進について」及び令和5年4月13日付け府政防第662号・府共第276号「女性の視点に立った防災・復興の取組促進について（地方防災会議における女性委員の登用の促進）」において、内閣府男女共同参画局長と内閣府政策統括官（防災担当）の連名で地方防災会議の女性委員の登用加速を促す通知を発出しております。

（略）

以上を踏まえて、**地方防災会議における女性委員の参画拡大に向けた取組の推進、および災害対策本部の構成員に占める女性の割合の促進を積極的に進めていただきますようお願いいたします。**

防災分野における女性の参画促進～好事例集～ (令和5年5月)



地方防災会議委員に占める女性委員比率の向上、防災・危機管理部局への女性職員の配置等、防災分野での女性の参画拡大に積極的に取り組む17自治体を紹介 <https://www.gender.go.jp/policy/saigai/suishin/index.html>

本事例集で紹介している
地方公共団体

山形県酒田市
山形県高畠町
茨城県
群馬県渋川市
東京都
岐阜県
静岡県浜松市
愛知県豊橋市
大阪府堺市
大阪府茨木市
兵庫県明石市
鳥取県
香川県坂出市
高知県高知市
福岡県桂川町
長崎県
沖縄県那覇市

事例8 女性職員の提案により、災害対応にあたる職員の子どもの一時預かり場所の設置を実現！ 愛知県豊橋市

取組概要

- 「防災に女性の参加と目標を取り入れる検討会」の実施結果を踏まえ、災害時に職員の子どもを一時預かり場所の設置を検討
- 訓練を実施して改善点を見つけることで、実効性のある制度に向けて更に検討を重ねている

取組のきっかけ 『災害時に女性が参画しやすい環境をつくりたい！』

当時、平成29年熊本地震の被災地に派遣された職員が、被災地で多くの女性職員が発災直後に託児所等がなく、育児・介護などを理由に参集できず、その後、長期間労働ができなことを苦に退職した、という実態を目の当たりにした。

豊橋市で災害が発生した場合にも、職員が不足するかもしれない……

災害対応に女性も参画しやすい環境づくりを検討するため、「防災に女性の参加と目標を取り入れる検討会」を発足。

災害時に、女性職員もすぐに職場に来られ、安心して働ける環境を目指そう！

愛知県 豊橋市 防災危機管理課 電話:0532-51-3116 <https://www.city.toyohashi.lg.jp/5272.htm>

事例8 愛知県豊橋市

2 平常時の資源を活用し、災害対応にあたる職員用の託児所を設置！

子ども一時預かり場所の設置

- 災害時に職員が安心して災害対応に取り組めるようにするため、検討会から子ども一時預かり場所の運用を検討するよう要望した
- 本庁舎内の職員を対象にして、庁舎内に託児所を設ける運用とした
- 育児休業中の職員が来庁した際に利用できるように、庁舎内の職員向け休憩スペースに畳やマットを敷いて託児スペースをつくった
- 災害時にもこのスペースを活用することにした

予算や人員などの具体的な検討につながった！

量やマットを敷いて託児スペースに！

本庁舎の職員向け設備として人員確保などを行い、まずはやってみることができた！

長時間の預かりや庁内完結型の制度など、引き続き検討！

日ごろから使われている託児スペースを災害時にも有効活用することで費用を抑えられた！

訓練後の振り返りを通じて、「(外郭団体(NPO法人など)と協定を結び、毎年防災訓練の際に、一時預かり場所の開設訓練も実施している

訓練には、市長や管理職等のトップたちも参加した

事例11 防災会議内に専門委員会を設置し、ジェンダーと多様性の視点を考慮した計画に改定！ 兵庫県明石市

取組概要

- ジェンダー平等プロジェクトチームがテーマの1つとして「防災」を検討し、「ジェンダーと防災に係る専門委員会」の設置を提案
- 実際に防災会議内に専門委員会を設置し、性別や障害の有無等にかかわらず多様な人達を委員に任命

取組のきっかけ 『防災分野において多様な視点で議論したい！』

庁内横断的にジェンダー視点を取り入れた施策について検討する「ジェンダー平等プロジェクトチーム」が立ち上がり、主要テーマの1つに「防災」が位置づけられた。

阪神・淡路大震災の被害を経験して、災害の脅威を認識してきたが、これまで防災の分野においてジェンダー視点の議論を行ってこず、防災会議の委員も女性の割合が少なかった……

多様な視点を踏まえた災害対策を議論するため、市に対して防災会議内に「ジェンダーと防災に係る専門委員会」を設置することを提案。

多様なメンバーから意見を出してもらい、出された意見は全て丁寧に扱うことを目指そう！

兵庫県 明石市 総合安全対策室 電話:078-918-5069 <https://www.city.akashi.lg.jp/anzen/>

事例11 兵庫県明石市

1 地域の関係者や障害者、高校生など、多様な方々が専門委員として参画！

ジェンダーと防災に係る専門委員会

- ジェンダー平等推進室と総合安全対策室で相談しながら、委員には有識者、市内で防災教育や避難所運営に関わる小学校校長、保健師、まちづくり協議会の会長、防災甲子園などに取り組む高校生を選任した
- 過去の災害の経験や知識を踏まえ、委員候補者と性別・年齢・障害の有無等の多様な観点から災害対策を考えることの重要性を共有した
- 当事者(障害者)に関するテーマを検討した際は、臨時委員として障害者にも参画を依頼した

ジェンダーバランスを図るとともに、多様な人達が委員に参画することで、障害者等の要配慮者の防災対策も含めて幅広く話し合えた！

全ての委員が意見を出した！

ワークショップなどで若者から意見が多く出ること、他の参加者も意見を出そうという空気に、活発に議論ができた！

職員が当事者の声を学ぶ機会にも！

会議の進め方

- 全4回の会議形式による会議に加え、模造紙と付箋を用いた「ワークショップ」を実施した
- 全ての意見を書き留め、出た意見を「すぐに取り組む業務」と「中長期的に取り組む業務」に整理した

1つの意見もつがず、全ての意見が大切にできた！

JGEPA 防災のオンライン研修（11月予定）

男女共同参画部局、防災・危機管理部局、男女共同参画センターの職員等へ受講を勧めてください。

JGEPA 独立行政法人 男女共同参画機構
Japan Gender Equality Promotion Agency

JGEPAオンラインキャンパス2026

あなたのペースで、
いつでも男女共同参画の学びを。



男女共同参画に関する基礎知識から現下の諸課題までを網羅した、オンライン学習プラットフォーム。
時間や場所に縛られず、日々の実務や地域課題の解決に資する体系的な学びを提供します。

2026年度 開講一覧

開講

閉講

男女共同参画の
基礎講座

総合コース

地方公共団体男女共同参画担当・男女共同参画センター職員にオススメ！

事前学習コース

分野別研修の事前学習として

分野別研修

女性関連施設相談員・相談事業担当者研修

学校における男女共同参画研修

男女共同参画の視点による災害対応研修

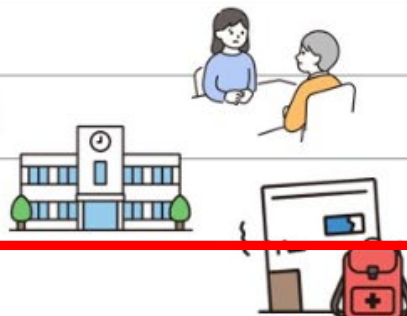
6月 24日（水）

7月 6日（月）

7月 29日（水）

11月上旬

2027年
1月 15日（金）



災害時に通知発出及びフォローアップ調査

府共第244号
令和8年4月21日

北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県

男女共同参画主管部局長 殿

内閣府男女共同参画局
参事官（地域政策担当）
（公印省略）

三陸沖を震源とする地震による災害対応における男女共同参画の視点からの

平素より、男女共同参画社会の推進にご尽力いただき、感謝いた

令和8年4月20日16時52分頃、三陸沖を震源とする地震が発生し、三陸沖後発地震注意情報が発表されました。今後、新たな大規模地震の発生を想定し、相対的に高まっていると考えられます。

各都道府県・政令指定都市の皆様におかれましては、令和2年5月12号・府政防第1222号「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～に基づく取組の促進について（依頼）」（参事官「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」と言う。）を活用して、男女共同参画担当部局長が連携して、災害対策本部等の庁内体制の整備や避難所の開設等についてご検討いただくとともに、関係機関・団体にもご展開いただきますよう、お願いいたします。

事務連絡
令和8年6月2日

北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県

男女共同参画主管部局 御中

内閣府男女共同参画局参事官（地域政策担当） 付

「三陸沖を震源とする地震による災害対応における男女共同参画の視点からの取組促進について（依頼）」におけるフォローアップ調査について（依頼）

男女共同参画社会の実現に向けた施策の推進につきまして、格段の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

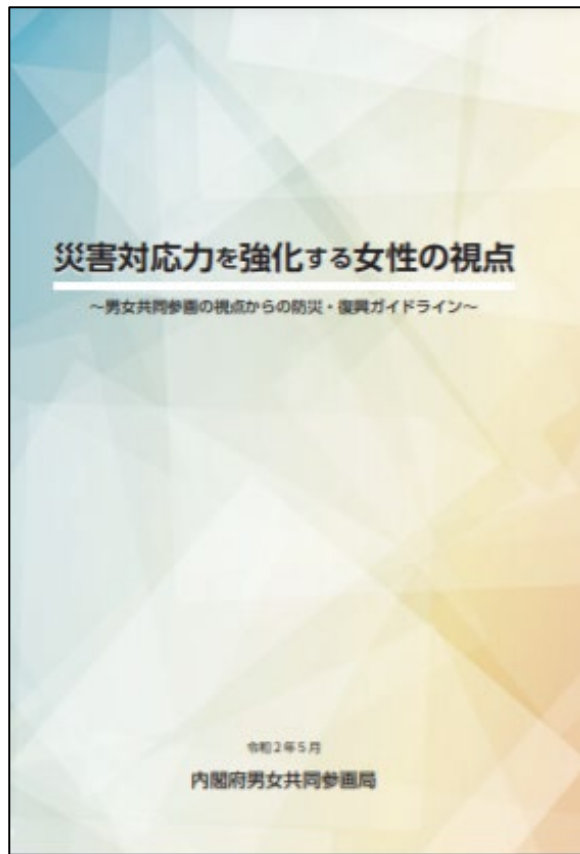
令和8年4月20日に三陸沖を震源とする地震が発生し、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたことから、内閣府男女共同参画局は、令和8年4月21日に「三陸沖を震源とする地震による災害対応における男女共同参画の視点からの取組促進について（依頼）」（以下、「通知」とする）（別添）を発出しました。

つきましては、当該通知に対する取組状況等を把握し、「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」の活用状況等について検証を行うこと、今後の災害対応に男女共同参画の視点を取り入れるために必要な取組を進めることを目的にフォローアップ調査を実施いたします。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、調査対象の男女共同参画センター等の関係機関・団体にもご展開いただきますよう、お願いいたします。

平常時にできないことは、災害時にはなおさらできない

「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」及び避難所チェックシート等を活用いただき、平常時・災害時のあらゆる防災施策に男女共同参画の視点を入れることで、災害に強い社会が作られる。



便利帳

避難所チェックシート

確認日: _____ 確認者: _____

① 避難所のスペース

プライバシー	☐ 授乳室（椅子、授乳用の枕やクッション、おむつ替えスペース）がある ☐ 男女別更衣室、男女別休養スペースがある ☐ 男女別更衣室、男女別休養スペースが離れた場所にある ☐ 間仕切り・パーティションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から、十分である
要配慮者	☐ 適切な通路が確保され、段差が解消されている ☐ 乳幼児のいる家庭用エリアがある ☐ 介護・介助が必要な人のためのエリアがある ☐ 単身女性や女性のための世帯用エリアがある ☐ 女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）がある ☐ キッズスペース（子供たちの遊び場・勉強・情報提供）や保育エリアがある ☐ 定数を超える人のための寝具（段ボールベッド等）が提供されている
トイレ	☐ 安全で行きやすい場所に設置されている ☐ 女性トイレと男性トイレは離れた場所にある ☐ 女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め ☐ 男性トイレ：尿取りパット等の配置 ☐ 多目的トイレが設置されている ☐ 洋式トイレが設置されている ☐ 屋外トイレは雨が降りにならない場所に設置されている ☐ トイレの個室内、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている ☐ トイレに錠がある
入浴施設	☐ 安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある ☐ 男女問わず一人で（又は付き添いを受けながら）入浴できる施設がある
安全	☐ 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている ☐ 間仕切り・パーティションが高い場合は個室の定期確認がされている
その他	☐ 各部屋に部屋札（ピクトグラム、やさしい日本語）が設置されている ☐ 掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている

57